

平成30年(1月～12月)に九州管内で発生したガス事故(ガス事業法関係)について、次のとおりお知らせします。

平成31年1月末現在
九州産業保安監督部

番号	事故発生日	事故発生場所	ガス事業区分	事故の種類 (被害の程度) 【段階別】	事故概要
16	12月16日	福岡県	小売 (特定製造所)	ガス漏えい・ 着火による物損 【消費】	需要家が風呂に湯を沸かすためBF式風呂釜に点火しようとしたところ、ボンという音とともにガス臭を感じたため使用を休止。事業者が確認したところ、風呂釜のケーシングが変形しているのを発見、ガス臭はするがガス漏洩はなかった。 【原因】 風呂釜に異常は見られなかったため、何らかの要因で風呂釜内に未燃ガスが滞留し、点火操作時のスパークにより未燃ガスに引火しケーシングが変形したものと推定。
15	12月13日	福岡県	一般導管	供給支障 (供給支障 85戸) 【供給】	需要家より「ガスが出ない」との通報が入り、調査した結果、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。供給支障戸数は周辺需要家85戸。 【原因】 給水管からの漏水によるサンドブラスト現象で支管の一部を損傷。損傷箇所より流入した水道水がガス管を水封したため、当該箇所近傍の供給圧力が低下した。
14	9月11日	福岡県	一般導管	供給支障 (供給支障 47戸) 【供給】	需要家より「ガスが出ない」との通報が入り、調査した結果、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。供給支障戸数は周辺需要家47戸。 【原因】 流入箇所は滞水箇所近傍の支管継手部であることを確認。当該継手接合部に隙間が発生し、降雨等の影響により地下水水位が上昇したことで、ガス管内に地下水が流入したものと推定。
13	9月9日	福岡県	一般導管	ガス漏えい・ 着火による物損 【供給】	消防より、湯沸し器の接続部より着火およびガス臭有りとの通報を受け出動。調査の結果、小型湯沸し器の使用時に可とう管ガス栓下ガス管の腐食部より漏えいしたガスに引火したものとと思われる。 【原因】 需要家が、自ら小型湯沸かし器を取り替え設置を行っており、この際にガス管腐食部に応力が加わりガス漏れが発生したと推定される。
12	8月22日	大分県	小売 (特定製造所)	供給支障 (供給支障 40戸) 【供給】	集中監視システムのカムカメラによる圧力センサー遮断情報を受信し、現場確認を行ったところ、ガス圧低下を確認した。その後も遮断情報を複数受信したため、当該需要家への仮設供給開始時に事業者において調査を実施したところ、需要家ガス管より水が噴出した。ガス管への差し水による供給支障40戸。 【原因】 水道管の漏水によるサンドブラスト現象で本管(PE管:75A)が損傷し、水道管からの差し水が原因で本支管内に水が貯留したことによる。
11	8月17日	福岡県	小売	ガス漏えい・ 着火による物損 【消費】	需要家より「お湯を出したらボンと音がして、玄関付近でガスのにおいがする」と連絡があり、確認したところ、RF式瞬間湯沸器のフロントカバーの一部が変形していた。 【原因】 当該建物の外壁塗装工事に伴い、RF式瞬間湯沸器の排気筒トップが養生シートで塞がれており、その状態で当該ガス機器を使用したため、未燃ガスが滞留し、再着火時に異常燃焼したものと推察される。
10	8月10日	鹿児島県	小売	ガス漏えい・ 着火による物損 【消費】	飲食店において、営業終了後に業務用ガスコンロ及び壁の一部を焼損するガス漏えい火災事故が発生した。人損なし。需要家によると失火のあったコンロは、1週間前にツマミ周辺から火が出る状態であったため、使用を中止し、業者へ修理見積り中であった。使用禁止措置済み。 【原因】業務用ガスコンロのコンロ部分が腐食による割れによりガスが漏えいし、何らかの原因で着火したものと推定。着火原因は不明
9	7月8日	福岡県	小売 (特定製造所)	ガス漏えい・着火による物損 【消費】	需要家が風呂の湯を沸かすためBF式風呂釜に点火しようとした際に、ボンという音とともにガス臭を感じたため使用を休止。事業者が確認したところ、風呂釜のケーシングが変形しているのを確認した。 【原因】 風呂釜には、異常は見られなかったため、何らかの要因で風呂釜内に未燃ガスが滞留し、点火操作時のスパークにより、未燃ガスに引火しケーシングが変形したものと推定。
8	7月6日	福岡県	一般導管	供給支障 (供給支障 35戸) 【供給】	需要家より「ガスが出ない」との通報が入り、事業者が調査した結果、当該地区のガス本管(ダクタイル鋳鉄管:150mm)が水封していることを確認した。周辺需要家35戸が供給支障となった。 【原因】 付近一帯を調査した結果、水封箇所より東側住宅地(山側)で山崩れが発生しているのが確認された。災害復旧工事が終わっておらず、詳しい原因特定はできていないが、山崩れの影響でガス導管の何らかの部位が損傷を受け、管内に流入したため水封したものと推定される。
7	5月19日	福岡県	小売 (特定製造所)	ガス漏えい・着火による物損 【消費】	需要家から瞬間湯沸かし器の点火スイッチを押したところ、湯沸かし器下部あたりで火が見えたので、すぐにガスを止め、消火したとの連絡があり、事業者は瞬間湯沸かし器の電池ボックス付近の焼損を確認。漏えい検査により異常がないことを確認済。 【原因】 瞬間湯沸かし器取付完了後の接続箇所の漏えい確認が不十分であったこと、瞬間湯沸かし器と燃焼ホースのネジ接続が不完全であったことによるものと推測される。
6	5月16日	福岡県	小売	ガス漏えい・ 着火による物損 【消費】	需要家より、ガス栓付近から火が出たとの連絡により、事業者が出動し、現地でゴム管用ソケット及びガス栓のつまみの一部に焦げ後を確認した。灯外内管、外れていたガス管用ソケットについても再接続し、ガス機器の電磁弁までのガス漏れ検査を実施、異常が無いことについては、確認済み。 【原因】 日常使用の中で当該接続箇所への応力がかかり、微量のガスが漏えいし、覆われたカバー部分にガスが滞留したものと推定。滞留したガスにコンロの燃焼炎が引火したことによりガス管用ソケットと2口ガス栓のつまみ部分の一部が変形したものと推察される。
5	3月21日	宮崎県	一般導管	供給支障 (供給支障 35戸) 【供給】	差し水により、本管を水封したため、近隣の35戸が供給支障となった。 【原因】 高低差のある住宅地において、大雨時に、支管(ポリエチレン被覆鋼管50mm、1974年施工)のネジ部腐食孔から流入した地下水が管内を伝わり、低地に埋設された本管(ポリエチレン管150mm、2003年施工)を閉塞(水封)させた。

4	3月13日	福岡県	一般導管	交通困難等 (住民避難6名) 【供給】	【速報対象外】 公民館のガス管立ち上がり(灯外内管)に公民館利用者が車をぶつけガス管を損傷した。これに伴いガス漏洩が発生したため、公民館利用者はガス会社及び警察へ連絡。ガス会社より警察が到着が早く、当時公民館にいた6名を避難(40分)させた。 【原因】 公民館利用者が自動車の運転ミスにより灯外内管を損傷させたことによるもの。
3	3月4日	福岡県	一般導管	交通困難等 (住民避難6名) 【供給】	【速報対象外】 消防より需要家が樹木の根を伐採中に、電動のこぎりでガス管を切断したとの通報を受け出動。先着した消防・警察が事故発生箇所周辺の交通規制を実施(長さ約80m、幅員約6m、約2時間)。また、付近住民6名の避難誘導を行った。 【原因】需要家が、敷地内のガス管(灯外内管)の埋設位置を確認することなく、樹木伐採を行った。
2	3月6日	佐賀県	小売 (特定製造所)	ガス漏えい・ 着火による 物損疑い 【消費】	3月6日5時頃、火災警報器が鳴動したため、家人が台所に行くとき煙が充満しており、火は見えなかったが、コンロに水をかけた。その後、煙の勢いが収まらないため、コンロ下部の物入れを開けたところ、炎を確認。濡れタオルを低圧ホースにかけて消火を行い、元栓を閉めたとのこと。ガス会社が通報により現地に到着後、マイコンメータを確認したところBCP(2次側圧力低下)を表示していた。 【原因】落雷により地中ガス管に雷のサージ電流が流れ、台所のコンロ下部へと伝わり、コンロ台周囲のステンレス板で強いスパークが発生した後、コンロ下部及び北側の木製収納棚に着火し無炎燃焼となり、長時間かけて周囲に燃え広がったものと推定。
1	2月18日	熊本県	小売 (特定製造所)	供給支障 (供給支障 95戸) 【供給】	団地集会場付近において、子供が遊んでいたが、その際集会場の灯外内管(メーターなし、プラグ止め)を利用して雨どいまで登っていたところ、固定T足バンドが加重により外れ、灯外内管の継手部が破損し、ガス漏洩が生じた。このため、特定製造所の元バルブを閉止し、95戸の供給支障となった。 【原因】 子供が灯外内管を利用して雨どいまで登ろうとして灯外内管を損傷。